

## 別 海 町 議 会 会 議 録

### 第 1 号 (平成 22 年 11 月 15 日)

#### 議事日程

日程第 1		会議録署名議員の指名
日程第 2		会期決定の件
日程第 3		町長あいさつ及び提出案件の概要説明
日程第 4	議案第 76 号	平成 22 年度別海町一般会計補正予算
日程第 5	議案第 77 号	財産の取得について
日程第 6	議案第 78 号	財産の取得について
日程第 7	議案第 79 号	財産の取得について
日程第 8	報告第 3 号	専決処分の報告について
日程第 9	報告第 4 号	専決処分の報告について
日程第 10	発議第 15 号	北海道開発局の枠組みの堅持と北海道局の存続に関する意見書について
日程第 11	発委第 7 号	T P P 交渉への参加を行わないよう求める意見書について

#### 会議に付した事件

日程第 1		会議録署名議員の指名
日程第 2		会期決定の件
日程第 3		町長あいさつ及び提出案件の概要説明
日程第 4	議案第 76 号	平成 22 年度別海町一般会計補正予算
日程第 5	議案第 77 号	財産の取得について
日程第 6	議案第 78 号	財産の取得について
日程第 7	議案第 79 号	財産の取得について
日程第 8	報告第 3 号	専決処分の報告について
日程第 9	報告第 4 号	専決処分の報告について
日程第 10	発議第 15 号	北海道開発局の枠組みの堅持と北海道局の存続に関する意見書について
日程第 11	発委第 7 号	T P P 交渉への参加を行わないよう求める意見書について

#### 出席議員 (18 名)

1 番	西 原 浩	2 番	沓 澤 昌 廣
3 番	福 原 春 夫	4 番	安 部 政 博
5 番	瀧 川 榮 子	6 番	山 田 信
7 番	丹 羽 勝 夫	8 番	松 原 政 勝
9 番	戸 田 博 義	10 番	戸 田 憲 悦
11 番	中 村 忠 士	12 番	佐 藤 初 雄
13 番	池 田 幸 雄	14 番	安 田 輝 男

15番 山崎賢一  
副議長 17番 横堀昭康

16番 佐々木春男  
議長 18番 渡邊政吉

欠席議員（0名）

出席説明員

町長 水沼 猛  
教 育 長 山 口 長 伸  
福 祉 部 長 田 村 秀 男  
建設水道部長 田 中 忠 敏  
監査委員事務局長 半 田 雅 代  
病 院 事 務 長 真 籠 毅  
総 務 部 次 長 有 田 博 喜  
福 祉 部 次 長 守 川 昇  
産業振興部次長 土 井 一 典  
総 務 課 長 宮 部 正 好  
総 務 課 参 事 佐 藤 則 夫  
福 祉 課 長 松 本 光 永

副 町 長 磯 田 俊 夫  
総 務 部 長 小 守 正  
産 業 振 興 部 長 飯 島 孝 二  
教 育 部 長 根 本 幸 三  
農 委 事 務 局 長 森 本 哲 男  
会 計 管 理 者 上 月 昭 彦  
福 祉 部 次 長 笠 原 悦 雄  
福 祉 部 次 長 松 本 光 永  
建設水道部次長 大 島 登  
総合政策課長 有 田 博 喜  
財 政 課 長 竹 中 仁

議会事務局出席職員

事 務 局 長 佐 藤 次 春

主 幹 山 田 一 志

会議録署名議員

14番 安 田 輝 男  
16番 佐々木 春 男

15番 山 崎 賢 一

#### 議長あいさつ

議長（渡邊政吉君） 会議に入ります前に申し上げます。今会期中は、広報及び報道関係者の写真撮影を許可しておりますので、申し上げておきます。

皆さん、それではこんにちは。若干時間前でございますが、議員、それから管理職の皆様おそろいでございますので、始めたいと思います。

開会 午後 1時26分

#### 開会宣告

議長（渡邊政吉君） ただいまから、平成22年第4回別海町議会臨時会を開会いたします。

ただいま出席している議員は、18名であります。定足数に達しておりますので、直ちに本日の会議を開きます。

本日の議事日程は、お手元に配付のとおりです。

#### 日程第1 会議録署名議員の指名

議長（渡邊政吉君） 日程第1 会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員は、会議規則第119条の規定により、議長において指名いたします。  
14番安田議員、15番山崎議員、16番佐々木議員、以上3名を指名いたします。

#### 日程第2 会期決定の件

議長（渡邊政吉君） 日程第2 会期決定の件を議題といたします。

お諮りいたします。

この臨時会の会期は、本日1日間といたしたいと思っております。これに御異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

議長（渡邊政吉君） 御異議なしと認めます。

したがって、会期は、本日1日間と決定いたしました。

#### 日程第3 町長あいさつ及び提出案件の概要説明

議長（渡邊政吉君） 日程第3 町長から、あいさつ並びに提出案件の概要について説明があります。

町長。

町長（水沼 猛君） まず、本日、平成22年第4回の臨時議会を招集させていただきました。議員各位には、何かとお忙しい中、御出席をいただきましてまことにありがとうございました。

本臨時会に提出をさせていただきました議案の概要について説明を申し上げます。

このたび提出させていただきました案件につきましては、議案が4件、報告2件でございます。議案第76号につきましては、平成22年度の一般会計の補正予算でございます。

この補正の内容につきましては、私が議長にも同行をお願いをいたしまして中国を訪問するための所要経費を補正するものでございます。

この中国の訪問につきましては、中国の瀋陽国際経済技術協力有限会社、この会社の副社長からのお話がきっかけで、このたび瀋陽市人民政府から招待状を受けまして、遼寧省瀋陽市、そして内モンゴルの通遼市を訪問し、別海町と瀋陽市あるいは通遼市との経済や観光交流など、行政と民間が一体となった幅広い交流と今後の友好都市交流も視野に入れ、中国を訪問するものでございます。日程につきましては、今月21日から26日までの6日間で、補正の内容につきましては、旅費のほか中国語による別海町の紹介パンフレットの印刷代等でございます。総額300万円を補正いたしたいとするものでございます。

議案第77号から議案第79号の3件につきましては、財産の取得案件で、このたび取得する福祉バス、スクールバス、小型ロータリー除雪車の契約に当たり、予定価格が1,500万円を超えるため議会の議決を求めるものでございます。

報告第3号と報告第4号につきましては、本年6月定例会において議決をいただきました、工事請負契約の一部変更に伴う専決処分について、地方自治法第180条第2項の規定により報告するものでございます。

以上、全部で6件の案件を提出させていただきましたが、本臨時会において御審議をいただき、御決定を賜りますようお願いを申し上げまして、議案の概要説明といたします。どうぞよろしくお願いをいたします。

議長（渡邊政吉君） ここで、お諮りいたします。

本臨時会に提出されております日程第4 議案第76号から日程第7 議案第79号までの4件については、会議規則第39条第3項の規定に基づき、委員会の付託は省略したいと思います。

これに御異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

議長（渡邊政吉君） 御異議なしと認めます。

したがって、日程第4 議案第76号から日程第7 議案第79号までの4件については、委員会の付託は省略することに決定いたしました。

#### 日程第4 議案第76号

議長（渡邊政吉君） 日程第4 議案第76号平成22年度別海町一般会計補正予算を議題といたします。

内容について説明を求めます。

財政課長。

財政課長（竹中 仁君） 議案第76号の内容説明をいたします。

別冊の別海町一般会計補正予算書の1ページをお開きください。

平成22年度別海町一般会計補正予算（第3号）。

平成22年度別海町一般会計の補正予算（第3号）は、次に定めるところによる。

第1条、歳入歳出予算の補正。

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ300万円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ154億6,470万円とする。

2項、歳入歳出予算の補正の款項の区分及び当該区分ごとの金額、並びに補正後の歳入歳出予算の金額は、第1表歳入歳出予算補正による。

2ページをお開き願います。

第1表、歳入歳出補正予算。

歳入です。

18款繰入金1項で300万円の増、歳入合計で300万円を増額し、歳入予算の総額を154億6,470万円とするものです。

次に、歳出です。

2款総務費1項で300万円の増、歳出合計で300万円を増額し、歳出予算の総額を154億6,470万円とするものです。

次に、歳入歳出予算補正事項別明細書の1、総括については説明を省略させていただきます、歳入から御説明いたします。

5ページをお開きください。

2、歳入です。

目の欄で申し上げます。18款繰入金1項1目財政調整基金繰入金300万円の増です。

次に、7ページをお開き願います。

3、歳出です。

2款総務費1項6目企画費で300万円の増額です。なお、今回補正後の財政調整基金の予算上の残高は14億3,137万2,000円となります。

以上で、議案第76号の内容説明を終わります。

議長（渡邊政吉君） 議案第76号の内容説明が終わりましたので、本件の質疑を行います。質疑に入ります。

1番西原議員。

1番（西原 浩君） 今回の中国視察に関する内容について、もう少し詳しく説明をお願いしたいと思います。

まず、1点目ですけれども、人的交流、経済交流、文化の交流という目的と、説明が今、町長からありましたが、具体的には何を目標としているのか。例えば、酪農研修生、観光客の誘致など、具体的にどのようなことを想定しているのかというのが、まず1点目でございます。

また、瀋陽市との姉妹都市を締結するのを目標とするという話もありましたけれども、現在、瀋陽市が締結している札幌市、川崎市とでは、行政規模が別海町の場合違うので、それが可能なかどうか、その点はどのように考えているのかというのが2点目でございます。

また、3点目といたしましては、渡航方法、ただいま、ちょっと書き取れ、聞きとめられなかったのですけれども、相手先、11月8日の説明では、中華料理店の経営者という話で説明があったのですけれども、その辺の、中国側の行政機関との関係が、関係といたしますか、どのような立場の人が仲介して今回渡航することになったのか。また、例えば、道とか国とか、今回に関しては、どのようにかかわっているのかというのが3点目でございます。

4点目といたしましては、視察先の内容でございます。今、21日から26日という6泊という予定ですが、瀋陽市に何泊、そして通遼市に何泊するのか、また、北京にも行くという説明が11月8日にありましたけれども、その辺はどのようなになっているのかというのが4点目でございます。

また、関連しまして、瀋陽市からは招待状があったということでございますけれども、

通遼市では、そういう親書、招待状があるのかどうか、その辺の関係をお聞きしたいと思います。

５点目といたしましては、今回、このように費用をかけることによって、具体的な効果というものはどうのように考えておられるのかというのが、５点目でございます。

以上、５点質問をいたします。

議長（渡邊政吉君） 町長。

町長（水沼 猛君） お答えを申し上げます。

まず、今回の訪中によります目的といいますか、そういうことだと思いますが、先ほどは、経済交流でありますとか、いわゆる観光交流とも申し上げました。経済交流につきましては、特に我々の酪農、畜産の町、そして水産の町としての、いわゆる地場産品を、我々としては、その販路としての瀋陽市含めて、中国へのこれからの販路を求めるについては、そういう形の、別海の地場産品の販路として、中国の瀋陽、今回は瀋陽市、また通遼市等々が、今回のこれをきっかけとしてこれからできていけば、できるようにしていきたいなと、そのような思いであります。

それから、観光についてももちろんそういうことで、この会社の副社長さんもこちらにお見えをいただいて、根室、別海町を含めて管内見られておりますし、別海町にも、町にも訪問をしていただきました。その中でこういうお話がありましたので、我々としても、これから第３の産業として観光に力を入れていこうということでスタートしたばかりでございますが、そういうきっかけもありますので、ぜひ、これから、今、観光も、徐々に観光客入り込みも減っているという状況の中で、そして、これから中国を含めて東南アジア経済発展を遂げるとともに、日本への観光客もこれからふえてくると思います。

そういうこれからの状況を想像したときに、やはり今、このことをきっかけに、さらに観光として、また、向こうも、新たな北海道を含めた観光地域というものを発掘したいという、いろいろな考え方もあるかと思しますので、その辺をも見据えながら、観光の振興になるように、そういうことを我々は期待をして行くわけですが、いずれにいたしましても、今回、向こうから来て、いろいろなお話が聞きましたが、やはり我々も現地に行って、向こうの瀋陽市や通遼市の政府の皆さんともじかにお話をしながら、また、この会社の皆さんともお話ししながら、今後、どのような形で交流が深めていくのか、そして、お互いどういうことが、いろいろな目的にかなう、お互いの、どちらもいい交流をしていくことが大事でありますので、その辺のところも、別海町としてどういうことが、中国と、その行くところに、別海町としてどういうことができるのかも含めて、例えば、我々は酪農畜産の先進者と思っておりますので、別海町のいろいろな研修牧場を含めたいろいろな資源、そういう先進的なことを、例えば酪農畜産の盛んな、いわゆる通遼市含めて内モンゴル地区はそうでございますので、そういう中で、どういうことが別海町としてできるのか。また、観光も含めて、いろいろなことを話し合って、そして、これからの経済交流、観光交流、また、そういう人材の交流等々、いろいろな方向が考えられるのではないかと思いますので、その辺のところをしっかりと、今回、そういう交流を初めとして、そういうことを確認しながら、今後、どういうふうにしていくかということを、まず、見きわめていくための訪問だと思っております。

それから、次、ちょっと飛ばすかもしれませんが、国と道との関係ですが、今のところ、そういう状況でありますので、今後、どういう国の支援、また、道の支援が必要かということは今のところわかりません。したがって、治安であります、そういうとこ

ろは、そういう基本的な向こうの状況については、いろいろインターネット等でもわかりますので、そういうことは、そういう国のインターネット、外務省のインターネット等で調べますけれども、今のところ、この交流に対して、こちらがしっかり、今のところそういう段階でございますので、国にどういうことを要請するのか、道にどういうことを要請するのかということについては、これから話でありますので、現在のところはそういうことはいたしておりません。

それから、日程についてですが、まず、瀋陽市に1日、それから通遼市に1日、今のところ、日程はそういう形で、次の日、北京を経由して日本に帰ってくる、非常に、そういう面では慌ただしい今回訪問になろうかと思っております。日程については、そういうことであります。

それから、招待状のことですが、瀋陽市のほうから招待状をいただいております。私、町長、議長、それから町職員2人の招待状をいただいております。それから、通遼市からは瀋陽市のほうで取り計らいをいただいて、瀋陽市の政府の皆さんと、いわゆる意見交換ができるという、今、そういう取り計らいをいただきました。したがって、通遼市のほうからの招待状はいただいております。

それから、効果ですが、こういうことは、今の段階で効果と言われても、なかなかはっきりとしたことは言えないというのは理解をいただけるものだと思っておりますし、ある意味、こういうことはリスクも伴うということも十分、我々は認識をいたしております。したがって、今、札幌で中華料理店をやられている方、そして、同時に旅行会社をやられている方からの、向こうとの仲介役をやっていただいておりますが、私も何回もお会いしましたが、中国人の方ですが、私の印象としては信頼を置けると思っておりますので、その方にお世話になって仲介をしていただきまして、通訳等を含めてやっていただいて、瀋陽市の、向こうでお世話になっております有限会社のほうの仲介をして、また、いろいろな連絡等も、その方を通じてやっていただいているということでございます。

姉妹都市の件ですが、これについても、当然、瀋陽市七百万人の都市ですし、先ほどもおっしゃいましたように、札幌市と姉妹提携ですか結んでおられますし、我々の1万6,000人の町でございますので、そういうことは瀋陽市とは考えておりませんし、通遼市も320万人近くの大きな町でございます。酪農畜産が盛んだということでありますので、ぜひ通遼市も今回訪問したい、そして、そういう交流もしたいということで、通遼市を紹介していただきましたけれども、その通遼を含めて、また周辺に、本当に酪農畜産の盛んな町も多々あるかと思えます。そういうことを含めて、友好都市関係を結べる都市が、今回訪問しますので、そういうところも含めて、いわゆる酪農畜産の盛んな町という共通点がないと、なかなかそういう友好都市関係を結ぶという意味も薄れてきますので、そういうところを、また向こうに行き紹介をしていただくなりしながら、通遼市等々含めて検討してまいりたいと思っております。友好都市関係というのは、そう簡単に、こちらの思いでもいくものでもありませんし、やっぱり向こうと、結びたい相手とも、いろいろお互いのプラスになるような交流が始まるということがあって初めて結べると思いますので、その点も、今回、現地に行き調べて調査してまいりたい、そのように思っております。

以上であります。

議長（渡邊政吉君） 西原議員。

1番（西原 浩君） 大分詳しく説明を受けたのですが、先ほど、瀋陽市が1

日、通遼市が1日という訪問予定だということなのですからけれども、もう少し詳しく、出入りだったり移動だったりがあるのかもしれないですけれども、そのほかの日程はどうなっているのか。先ほど、北京に入ってからということなのですからけれども、北京にはどのくらい滞在するのか、そういう行程表みたいな、何時からという詳しくは要らないですけれども、どこに泊まっていくのかというのが、もうちょっと詳しく説明してほしいというのが1点です。

議長（渡邊政吉君） 日程の内容ですね、行程ね。

では、次長から説明してください。

総務部次長（有田博喜） それでは、日程について報告させていただきます。

21日、中標津を出発しまして、千歳を經由して北京へ飛びます。そして、北京を經由して、その日は瀋陽に夜10時過ぎに着く予定になっています。そして、22日は、朝から瀋陽市と、人民公社といいますか、市役所ですけれども、そちらのほうにお伺いするという日程になっていまして、22日、瀋陽市に宿泊の予定です。23日は、瀋陽市から通遼市のほうに車で移動しまして、そちらで通遼市と交流しまして、通遼市のほうに宿泊予定になっています。24日は、通遼市を出発しまして、国内線にて北京へ飛ぶと。その日は北京に宿泊になっています。そして、25日につきましては、北京、夕方の便に乗りまして、羽田に10時過ぎに着くと。そして、その日は羽田に宿泊します。そして、最終日26日は、羽田11時の中標津直行便で帰ってくるという予定になっています。

以上です。

議長（渡邊政吉君） 西原君、よろしいですか。

1番（西原 浩君） はい。

議長（渡邊政吉君） それでは、ほかに御質問ございますか。

9番戸田議員。

9番（戸田博義君） 今の説明で、あらあら御理解をいたしました。ひとつ行ってきまして、その効果があるといいなというふうに思うわけでございますけれども、農業ばかりでなく、当町には水産加工場等もございます。言ってみれば、1加工場で十数名、20名近くの中国の方々が来られておりまして、大変若いし、働くと。言ってみれば、かなりそういう人方については、頼りにしているわけでございます。多少、制度が変わったようでございますけれども、やはり、この水産そのものも頼りにしているわけでございますから、そういうことも、ひとつ念頭に置いていただきたいなと。これは答弁は要りません、ひとつ念頭に入れてということをお願いしたいなと、このように申し上げて、終わります。

議長（渡邊政吉君） 答弁はよろしいですね。

ほかに御質問ございますか。

11番中村議員。

11番（中村忠士君） 人的交流、経済的交流、物的交流、こういうものを図りたいというのが一つのねらいとして、それ自体は大変重要なことかなというふうに思うのですけれども、この瀋陽、通遼、とりわけ、この通遼という都市が、内モンゴル自治区というそういう地域にあって、なかなか私自身よくわからないところがありますので、御質問します。

まず、第1点目は、通遼と日本、とりわけ北海道とのアクセスルートがどういうふうになっているのかなというのをちょっとお聞きしたいと思います。先ほど行程表が述べられ



たわけですけれども、1回北京へ飛んでから、それから、瀋陽あるいは通遼に行く、帰日も北京を経由して帰ってくるという、そういうルートしかないのだろうか。とすれば、人的交流、物的交流といっても、なかなか大変なのかなという感じがいたします。そのアクセスルートについて、ひとつ教えていただきたいというふうに思います。

それから、現状として、人的交流、物的交流がどういうふうに行われているかということで、通遼、あるいは内モンゴル自治区から日本への観光客等、現状としてどうなっているのか、あるかないのか、あるいは、その周辺の中国の方々が日本に来るという状況はどういうふうになっているのか、多分、この訪問ということに関して、一定程度お調べになっているのではないかなというふうに思いますので、その点、現状としてどうなっているかということをお聞きしたいと思います。とりわけ、通遼との関係がどうなっているのかをお聞きしたいのです。

それから、3点目の質問ですけれども、友好都市関係をできたら通遼と結ぶ可能性があるかないかということを含めて、調査しに行くのだというお話ですけれども、この通遼、あるいは、その周辺の都市と日本のどこかの都市が友好関係を結んでいるという事例があるのかどうかということ、ちょっとお聞きしたいと思います。

以上です。

議長（渡邊政吉君） 次長。

総務部次長（有田博喜） それでは、質問の一番目にありました、アクセスルートについて御説明申し上げます。

通遼市には、日本からは直接行く交通手段はありません。千歳から、水曜日と日曜日に瀋陽に真っすぐ直行便が飛んでおります。瀋陽市から通遼市には飛行機はないということで、車等で2時間から3時間かかるというふうに聞いています。今回は北京を経由して行くということになりましたけれども、それについては、冒頭、町長のほうからお話がありました旅行会社を仲介して日程等を詰めましたけれども、北京を経由することによって、1人3万円前後安くなるというお話でしたので、今回は北京を経由して行くというふうに日程を組まさせていただきました。

以上です。

議長（渡邊政吉君） 町長。

町長（水沼 猛君） 通遼市のことですが、はっきり言って、私も詳しくですね、どういう市なのか、基幹産業としては酪農とか畜産が盛んな町ですよということ以外は、なかなか詳しいことはまだはっきりわからないというのは本当の話であります。実は、この内モンゴル自治区については、北海道とのつながりといいますか、牧畜、酪農が盛んな、やっているところでありますので、いわゆる中国人の研修生として中標津含めて根室管内、別海、中標津が主だと思いますが、中国の酪農関係の研修生が来て、今の現時点では、多分、もう、そういう交流はないと思いますが、30年ほど前はそういう交流がありまして、実は私のところにも、内モンゴルから研修生が何名か1年交代で来ておりました。したがって、酪農、畜産が盛んな町だということは私も認識はありましたので、そういうところだということは間違いのない話でありますので、そういうことであれば別海町とのいろいろな共通点はあるのだなという、そういう思いで、そこが通遼市ということでありましたので、そういう意味では、我々とのそういういろいろな交流をしていく上では、共通点があって、いい地域なのだなと、そういう認識で、今回訪問しようということでございます。

議長（渡邊政吉君） 町長、もう一つ質問、日本との既に交流実績があるかないかとお聞きされたのですが。

町長。

町長（水沼 猛君） 日本国内との通遼市との交流実績については、調べてはいないのですが、今のところの情報では、そういうところはあるとは聞いていません。

議長（渡邊政吉君） 中村議員、よろしいですか。

中村議員。

11番（中村忠士君） もう一つ質問したのは、友好都市関係を結んでいる、今のお答えの中に含まれているのかもわかりませんが、ちょっと念のために申し上げますと、私が質問したもう一つは、友好都市関係を、例えば通遼と結んでいるところはあるのかということも質問したのですが、今のお答えでよろしいのでしょうか。今の情報の中では、結んでいるところはないというふうなお答えでよろしいのでしょうか。

議長（渡邊政吉君） 町長。

町長（水沼 猛君） 私どもが、どこと結んでいるのか、また全く結んでいないのか、そこら辺が、実際、調査を、そこまで詳しくしていませんので、わからないというのが実態なのです。

議長（渡邊政吉君） 中村議員。

11番（中村忠士君） 通遼市は内モンゴル自治区で、酪農つながりで、大変、今後の別海町と、こういう内モンゴル自治区、とりわけ通遼等の都市と関係を深めていくとか交流を盛んにしていくということのメリットというのは、私はもしかしたらあるのかもわからないなというふうに思っていますし、同じアジアの酪農というものを、ヨーロッパと日本の酪農というの関係というのはよく言われたり、アメリカとの、あるいはニュージーランドの酪農というのによく言われるのですけれども、この内モンゴル自治区の酪農というのは長い歴史を持っていて、そういう歴史から学ぶだとか、それから、逆に日本の酪農を見ていただくだとか、そういうことの関係というのも私はすごく重要だというふうに前々から思っていたので、このことの意義というのはあるのだろうなというふうには思うのです。思うのですが、こうやってお話を聞いてみますと、通遼と日本のアクセスルートというのは、そう、太いものではないと。むしろ、非常に、そこまで行くのにある程度の難儀があるのかなということでは、すぐに人的交流、物的交流というのはちょっと難しいという感じがいたします。

その中で、別海町が今回、そういう状況の中で何を目指していくのかというのは、やはり相当しっかり考えていただきたいというふうに私は思うのです。考えていかなければいけないだろうというふうに思います。まだまだ情報不足というのが今のお話の中でかなり感じられますので、私はあえて反対はしませんけれども、ぜひ、十分に情報をしっかりつかんでいただいて、何を目的にして今後進んでいくのかということをよく精査していただいて、進んでいっていただければなというふうに思います。

町長のお考えがあれば、お聞かせください。

議長（渡邊政吉君） 町長。

町長（水沼 猛君） 先ほどから言っていますように、いわゆる経済交流、それから観光の交流でありますとか、また、人材の交流等を含めて、そういうところを基本として、どのような、町として交流することによってのメリットですよね、そういうことをどうやってそこから見出していくか、まず、それを今回確かめるということと、相手があるこ

とですから、向こう側はどういうことを考えて、そして、この東の、日本の端の別海町を含めて、多分、根室管内も含めて、どういうことを考えておられるのか、北海道全体も当然入るでしょうけれども、そういうことも含めながら、向こうの考え方も聞いて、そして、お互いにメリットのある交流はどうすればできるのか、どういうことを考えておられるのか、そういうことを別海町として考えていくための、いわゆる、今回はそういうことを前提として、そういうことを、まず現地に行って、しっかり多くの皆さんというかと懇談をしながら、これからどういう形でやっていけるか、いけないのかも含めて、確かめに行く、調査に行くということが主体だと思っておりますので、今の時点で、はっきり、こういうことをやる目的でという頑としたものは、皆さんに詳しく説明できるものは今のところないということは、ぜひ御理解をいただきたいなと、そのように思っています。

議長（渡邊政吉君） 中村議員、よろしいですか。

では、ほかに御質問ございますか。

（「なし」の声あり）

議長（渡邊政吉君） ないようですので、以上で質問を終わります。

これから、討論に入ります。討論ございますか。

1 番西原議員。

1 番（西原 浩君） 非常に申し上げづらいのですが、今回、反対するという立場で討論をさせていただきます。

今、町長の説明がありましたように、確かにやってみなければわからない部分というのは非常に多いと思います。ただ、余りにも、事前調査、また、今の現状認識というものに対する調査が薄いのでは、希薄なのではないかなというのが、目的を明確に打ち出せない 1 点になっているのではないかなと。だから、もう少し調べていただきたいというのが、まず第 1 点でございます。

また、2 点目といたしましては、今回、中国側との行政機関との関係、また、日本の行政機関と、どう連携していくのかというのが、まだ不透明であると。もう少しその辺も練っていただきたいと。それから、これも費用対効果ということで、やってみなければわからないということで、すべてそういう答弁でございましたけれども、今回、どのような効果が得られるのかというのが、まだ疑問に思えます。今回の計画に対して、この計画では効果が疑問に思われる点が第 3 点でございます。

4 点目としては、8 日も言ったのですけれども、この段階で議会を代表して議長が同行するという目的、これに関しても、まだその段階には来ていないのではないのかと。もう少し調査してからの方がいいのではないかなと私は考えますので、以上 4 点の理由で、この議案に反対いたします。

以上です。

議長（渡邊政吉君） それでは、賛成討論ございますか。

8 番松原議員。

8 番（松原政勝君） 今、質疑の中でもいろいろな御意見がございました。私は、今度の交流都市の推進事業については、先日の全員協議会のときもお話ししましたように、瀋陽という町は非常に大きな町でございまして、北海道から一番近いところかなと、このように思っております。それと、この経済交流、さらにはいろいろな観光、文化もあるでしょうけれども、特に経済交流では、北海道漁連は、今から十数年前から、輸出輸入の、要するに経緯をたどって成功した一つでございます。さらには、ホクレンなんかもその中

に後から入って、最終的には北海道知事がみずから中国に行って、要するに売り場に立って知事がPRするという、今、そういうところまで来ております。そういう点では、非常に中国の、瀋陽とか大連とか、今言われる通遼とかというのは、非常に北海道と近いところであると、このようにも思っております。そういう意味では、今回のこの交流事業については、手探りの状況だと私も思っております。手探りの状況だと思っておりますけれども、ぜひ一度行って、ひとつ、向こうの、要するにどういう内容なのか、また、これからいろいろなことを交流していけるのか、そこら辺も含めて、ひとつじっくりと調査していただきたいと。先日も申し上げましたように、調査した後は、帰ってきたら説明をいただき、さらには、別海町の経済界、そういう人たちとも、今後、交流について、いろいろ協議していただきたいと、このように思います。

私も一度中国へ行ってきましたが、特に北海道の生産された、加工されたものというのは、中国に非常に人気があるわけです。それは、やっぱり安全・安心だと思えます。今、中国でもたくさんものはあるのですが、やはり北海道のものが非常に人気があるというのは、安全・安心だと思えます。そういう点では別海町で生産されたものは、恐らくこれからも信用を得て人気が出るのだと思えますので、ひとつ町長に、ぜひこれを頑張って調査していただきたいとこのように思いまして、賛成の討論をさせていただきます。

議長（渡邊政吉君） ほかに討論ございますか。

（「なし」の声あり）

議長（渡邊政吉君） ないようでございますので、以上で討論を終わります。

これから、採決いたします。

本件については、起立により採決いたします。

本案を原案のとおり、決定することに賛成する議員の起立を求めます。

（賛成者起立）

議長（渡邊政吉君） 起立多数であります。

したがって、議案第76号は、原案のとおり可決されました。

#### 日程第5 議案第77号

議長（渡邊政吉君） 日程第5 議案第77号財産の取得についてを議題といたします。

内容について、説明を求めます。

財政課長。

財政課長（竹中 仁君） 議案第77号の内容説明をいたします。議案の2ページを開きください。

本案は財産の取得に当たり、予定価格が1,500万円を超えるため、地方自治法第96条第1項第8号の規定により議会の議決を求めるものであります。

最初に議案本文を朗読いたします。

- 1、取得する財産の種類及び数量、福祉バス1台。
- 2、取得の方法、指名競争入札による契約。
- 3、取得価格、4,299万7,500円（うち消費税及び地方消費税額204万7,500円）。
- 4、取得の相手方、釧路市鳥取大通6丁目8番11号、UDトラックス道東株式会社釧

路支店支店長西嶋稔。

次に、本案提出に至るまでの経過について御説明をいたします。

入札の執行は11月9日で、三菱ふそうトラックバス株式会社北海道ふそう釧路支店、東北海道いすゞ自動車株式会社中標津支店、東北海道日野自動車株式会社中標津営業所、UDトラックス道東株式会社釧路支店、以上、4社による指名競争入札を行い、1回目の入札で落札をいたしました。

消費税及び地方消費税を除く最高入札価格は4,150万円、最低入札価格は4,095万円で、最低入札者であります本案のUDトラックス道東株式会社釧路支店と現在仮契約中であります。

なお、納期は、平成23年3月18日までとしております。

取得する財産の内容につきましては、議案資料で御説明いたします。議案資料の1ページをお開き願います。

この福祉バスは、特定防衛施設周辺整備調整交付金事業で取得するもので、主要諸元は型式がLKG AS96VP、乗車定員52名、全長11.99メートル、全幅2.49メートル、全高3.6メートル、総排気量12.808リッター、最大出力が420ピーエスです。

資料2ページには、右側に前後面、及び、中央上段に内部平面、それから下段に側面図を記載しております。

以上で、議案第77号の内容説明を終わります。

議長（渡邊政吉君） 議案第77号の内容説明が終わりましたので、本件の質疑を行います。質疑に入ります。

（「なし」の声あり）

議長（渡邊政吉君） 質疑を終わります。

これから、討論に入ります。

（「なし」の声あり）

議長（渡邊政吉君） 討論を終わります。

これから、採決をいたします。

本案は、原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

議長（渡邊政吉君） 御異議なしと認めます。

したがって、議案第77号は、原案のとおり可決されました。

#### 日程第6 議案第78号

議長（渡邊政吉君） 日程第6 議案第78号財産の取得についてを議題といたします。

内容について、説明を求めます。

財政課長。

財政課長（竹中 仁君） 議案第78号の内容説明をいたします。

議案の3ページをお開き願います。

本案も、財産の取得に当たり、予定価格が1,500万円を超えるため、地方自治法第96条第1項第8号の規定により、議会の議決を求めるものであります。

最初に、議案本文を朗読いたします。

- 1、取得する財産の種類及び数量、スクールバス中型1台。
- 2、取得の方法、指名競争入札による契約。
- 3、取得価格、1,750万3,500円(うち消費税及び地方消費税額83万3,500円)。
- 4、取得の相手方、標津郡中標津町桜ヶ丘3丁目24番地、東北北海道日野自動車株式会社中標津営業所所長小山清司。

次に、本案提出に至るまでの経過について御説明いたします。

入札の執行は11月9日で、東北北海道いすゞ自動車株式会社中標津支店、東北北海道日野自動車株式会社中標津営業所の2社による指名競争入札を行い、1回目の入札で落札いたしました。

消費税及び地方消費税を除く最高入札価格は1,690万円、最低入札価格は1,667万円で、最低入札者であります本案の東北北海道日野自動車株式会社中標津営業所と現在仮契約中であります。

なお、納期は平成23年3月11日までとしております。

取得する財産の内容につきましては、議案資料で御説明をいたします。議案資料の3ページをお開き願います。

このスクールバスも特定防衛施設周辺整備調整交付金事業により取得をするもので、主要諸元は、型式がBDG RR7JJBA、乗車定員50から55名、全長8.99メートル、全幅2.34メートル、全高3.035メートル、総排気量6.403リットル、最大出力225ピーエスとなっています。

なお、定員50から55名となっております、この乗車定員につきましては、52名ないし53名を最終的に想定はしておりますけれども、購入するバスの立ち席位置の配置等により、最終的には車検を受けた段階で席数が確定するため、現時点では幅を持った記載をさせていただいております。

資料4ページには、福祉バスと同じく、内部平面図、外観図、前後面図を記載しております。

以上で、議案第78号の内容説明を終わります。

議長(渡邊政吉君) 議案第78号の内容説明が終わりましたので、本件の質疑を行います。質疑に入ります。

(「なし」の声あり)

議長(渡邊政吉君) ないようですので、質疑を終わります。

これから、討論に入ります。討論ございますか。

(「なし」の声あり)

議長(渡邊政吉君) ないようですので、討論を終わります。

これから、採決いたします。

本案は、原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

議長(渡邊政吉君) 御異議なしと認めます。

したがって、議案第78号は、原案のとおり可決されました。

#### 日程第7 議案第79号

議長(渡邊政吉君) 日程第7 議案第79号財産の取得についてを議題といたします。

す。

内容について、説明を求めます。

財政課長。

財政課長（竹中 仁君） 議案第 79 号の内容説明をいたします。

議案の 4 ページをお開きください。

本案も、財産の取得に当たり、予定価格が 1,500 万円を超えるため、地方自治法第 96 条第 1 項第 8 号の規定により、議会の議決を求めるものであります。

最初に、議案本文を朗読いたします。

1、取得する財産の種類及び数量、小形ロータリー除雪車 1 台。

2、取得の方法、指名競争入札による契約。

3、取得価格、1,732 万 2,900 円（うち消費税及び地方消費税額 82 万 4,900 円）。

4、取得の相手方、岩見沢市幌向北 1 条 2 丁目 580 番地、開発工建株式会社代表取締役奈良和康。

次に、本案提出に至るまでの経過について御説明いたします。

入札の執行は、同じく 11 月 9 日で、開発工建株式会社、檜崎産業株式会社釧路営業所、北海道川重建機株式会社釧路支店の 3 社による指名競争入札を行い、1 回目の入札で落札をいたしました。消費税及び地方消費税を除く最高入札価格は 1,780 万円、最低入札価格は 1,649 万 8,000 円で、最低入札者であります本案の開発工建株式会社と現在仮契約中であります。

なお、納期は平成 23 年 3 月 25 日までとしております。

取得する財産の内容につきましては、議案資料で御説明いたします。議案資料の 5 ページをお開きください。

本案のロータリー除雪車についても、同じく特定防衛施設周辺整備調整交付金事業によって取得をするもので、ロータリー除雪車の型式につきましては HK131K、附属の草刈装置の型式は HK130MD です。

主要諸元は、乗車定員 2 名で、その他の主要諸元は記載のとおりですので省略をさせていただきます。

性能についてですが、除雪装置は、最大除雪量が 1 時間当たり 750 トン、投雪距離が 0 から 18 メーター、最大除雪幅が 1.5 メーター、最大除雪高 1 メーターで、主に歩道用のロータリー除雪車となっております。また、夏場はディスクモア式で刈り取り幅 1.6 メーター、円盤数 2 個の草刈装置を装着し、道路維持作業用にも活用できる車両となっております。特別仕様として、シャッター付バックカメラ一式を備えております。

6 ページには、同じく外観図を記載しておりますけれども、左側上の図面が後部から、左側下が正面から、中央の上のほうの図は平面図、中央下が側面図という、このような形状になっております。

以上、議案第 79 号の内容説明を終わります。

議長（渡邊政吉君） 議案第 79 号の内容説明が終わりましたので、本件の質疑を行います。質疑に入ります。

9 番 戸田議員。

9 番（戸田博義君） 納期のことでお伺いをいたします。

今の説明では、来年の 3 月 28 日までだと、このような説明だったかと思えますけれ

ども、今、１１月、もうそろそろ雪も降ってくるというような、そういう時期になってまいりました。その中で、納期が、この３月２８日というのは最終納期でございます。それで、ことしの１２月、１月、２月の雪に間に合うのかどうか、そこら辺については落札者ともいろいろな話をしているのではないかなと、このように思いますけれども、その点についてお伺いをいたします。

議長（渡邊政吉君） 建設水道部次長。

建設水道部次長（大島 登） お答えをいたします。

この小形ロータリー車なのですけれども、特殊発注ということになっておりますので、３カ月から４カ月程度かかるということで、この納期にしております。ことしの除雪には間に合いませんけれども、来年の草刈り、あるいは除雪に使う予定であります。

以上でございます。

議長（渡邊政吉君） 戸田議員、よろしいですか。

９番（戸田博義君） わかりました。

議長（渡邊政吉君） ほかに御質問ございますか。

（「なし」の声あり）

議長（渡邊政吉君） ないようですので、質疑を終わります。

これから、討論に入ります。ございますか。

（「なし」の声あり）

議長（渡邊政吉君） ないようですので、討論を終わります。

これから、採決いたします。

本案は、原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

議長（渡邊政吉君） 御異議なしと認めます。

したがって、議案第７９号は、原案のとおり可決されました。

#### 日程第８ 報告第３号

議長（渡邊政吉君） 次に、日程第８ 報告第３号専決処分の報告についてを議題いたします。

内容について、説明を求めます。

なお、本件は報告のみでありますことを申し添えます。

財政課長。

財政課長（竹中 仁君） 報告第３号専決処分の報告について。

本件報告は、地方自治法第１８０条第１項の規定に基づき、議会の議決により指定された請負工事契約金額の変更契約にかかわる町長の専決処分事項について、次のとおり専決処分したので、同条第２項の規定により報告するものでございます。

専決処分書を読み上げます。

専決処分書。

地方自治法第１８０条第１項の規定により、次のとおり専決処分する。

平成２２年１０月１９日、別海町長水沼猛。

工事請負契約の一部変更について。

平成２２年６月２４日議案第６１号により議決を経て締結した、町道泉川北４線（一般４－Ａ２１５）交付金工事（改良）請負契約の一部を次のように変更する。



契約金額を、５，６７０万円（うち消費税及び地方消費税額２７０万円）を５，６４６万  
９，０００円（うち消費税及び地方消費税額２６８万９，０００円）に改める。

変更の内容につきましては、排水工、構造物撤去工、共通仮設費について概数の確定を  
したもので、２３万１，０００円の減額となったものでございます。

以上で、報告第３号の内容説明を終わります。

#### 日程第９ 報告第４号

議長（渡邊政吉君） 次に、日程第９ 報告第４号専決処分の報告についてを議題とい  
たします。

内容について、説明を求めます。

なお、本件は報告のみでありますことを申し添えます。

財政課長。

財政課長（竹中 仁君） 報告第４号専決処分の報告について。

地方自治法第１８０条第１項の規定により、次のとおり専決処分したので、同条第２項  
の規定により報告する。

本件につきましても、請負工事の変更契約にかかわり、専決処分を行ったものです。

専決処分書。

地方自治法第１８０条第１項の規定により、次のとおり専決処分する。

平成２２年１０月２２日、別海町長水沼猛。

工事請負契約の一部変更について。

平成２２年６月２４日議案第６０号により議決を経て締結した、町道上春別４５線（一  
般４－Ａ２１３）交付金工事（改良）請負契約の一部を次のように変更する。

契約金額６，１５３万円（うち消費税及び地方消費税額２９３万円）を６，１５７万２，  
０００円（うち消費税及び地方消費税額２９３万２，０００円）に改めるというもので、  
こちら、概数の確定及び取付道路工、排水工の変更により、４万２，０００円の増額と  
なったものでございます。

以上で、報告第４号の内容説明を終わります。

議長（渡邊政吉君） ここで１０分間、休憩を挟みます。

休憩 午後 ２時３０分

再開 午後 ２時４０分

議長（渡邊政吉君） 休憩前に引き続き、会議を再開いたします。

#### 日程第１０ 発議第１５号

議長（渡邊政吉君） 日程第１０ 発議第１５号北海道開発の枠組みの堅持と北海道局  
の存続に関する意見書についてを議題といたします。

内容について説明を求めます。

１６番佐々木議員。

１６番（佐々木春男君） 北海道開発の枠組みの堅持と北海道局の存続に関する意見書  
の内容について御説明申し上げます。

日本における北海道の役割は、言うまでもなく、豊富な鉱山資源や広大な大地を利用し  
た食料の供給など、大きな役割を果たしてきました。

しかし、国土交通省は本省の再編を行う一環として、北海道局を廃止するという報道が流れ、食料基地としての役割を担ってきた本町も大きな衝撃と困惑を受けたところです。

まだまだ社会資本整備がおこなわれている北海道にあっては、開発予算の一括計上と直轄・補助事業に対する北海道特例措置といった枠組みは、今後とも必要であり、地域における生産基盤や産業基盤の整備を図る上で、北海道局の果たす役割は極めて重要、必要不可欠であるとの考えから、本意見書を提案するものであります。

内容につきましては、意見書の朗読をもってかえさせていただきます。

発議第 15 号北海道開発の枠組みの堅持と北海道局の存続に関する意見書。

上記の議案を、別紙のとおり、別海町議会会議規則第 14 条第 1 項及び第 2 項の規定により提出します。

平成 22 年 11 月 15 日、別海町議会議長渡邊政吉。

提出者、別海町議会議員、佐々木春男。

賛成者、(同)横堀昭康、(同)池田幸雄、(同)戸田憲悦、(同)安部正博。

北海道開発の枠組みの堅持と北海道局の存続に関する意見書。

北海道は、明治以降、国全体の安定と発展に寄与することを目的として、旧北海道開発庁を中心に特別な政策のもとで開発が進められ、豊富な鉱山資源や広大な大地を利用した食料の供給など、我が国の発展に大きく寄与してきました。

北海道の開発は、我が国経済の復興や食糧の増産、人口や産業の適正配置など、その時々々の国の課題解決に寄与することを目的に推進されてきたところであります。

そうした中、国土交通省が本年度において本省の再編を行い、北海道局廃止という報道が北海道民に衝撃と困惑を与えています。

北海道は社会資本整備がおこなわれており、北海道開発予算の一括計上と直轄・補助事業に対する北海道特例措置といった北海道開発の枠組みは、今後とも堅持されなければなりません。

また、我が国の食糧自給率の向上に寄与するための農水産基盤や地域の発展と生活を支える地域間交流、国際競争力のある産業及び観光づくりのための高速ネットワークや港湾の整備など、最も基本となる社会資本整備は全国に比べいまだ不十分な状況であります。

こうした中において、北海道における生活基盤や産業基盤の整備を図る上で、北海道局の果たす役割は極めて重要であり、必要不可欠であるとの考えから、下記の事項を強く要望いたします。

記。

1、北海道の経済に与える影響の大きさを考えると、北海道局の廃止は反対である。

2、北海道開発予算の一括計上、北海道特例措置を堅持し、北海道開発事業を推進する体制を維持すること。

3、活力ある地域経済社会をつくり、安全・安心で快適な暮らしを実現するため、また、地域間格差を広げないために必要な基盤整備を行う公共事業予算をこれ以上の削減を行わないこと。

以上、地方自治法第 99 条の規定により意見書を提出する。

平成 22 年 11 月 15 日、北海道野付郡別海町議会議長渡邊政吉。

意見書提出先、衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣、国土交通大臣。

以上であります。御審議の上、議員各位の御同意を賜り、速やかに御決定賜りますようお願い申し上げます。

議長（渡邊政吉君） 発議第 15 号の内容説明が終わりましたので、本件の質疑を行います。質疑に入ります。

（「なし」の声あり）

議長（渡邊政吉君） 質疑を終わります。

これから討論に入ります。

（「なし」の声あり）

議長（渡邊政吉君） 討論を終わります。

これから、採決いたします。

本案は、原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

議長（渡邊政吉君） 御異議なしと認めます。

したがって、発議第 15 号は、原案のとおり可決されました。

#### 日程第 11 発委第 7 号

議長（渡邊政吉君） 日程第 11 発委第 7 号 T P P 交渉への参加を行わないよう求める意見書についてを議題といたします。

内容について説明を求めます。

産業常任委員長。

産業常任委員長（戸田憲悦君） T P P 交渉への参加を行わないよう求める意見書の内容について御説明申し上げます。

本件は、平成 22 年 11 月 4 日付で別海町内農協連絡協議会から要請があったほか、根室地方議員連絡協議会、日本共産党別海町議団からも同様の要請があり、産業常任委員会で協議、検討したものであります。

政府が閣議決定した包括的経済連携に関する基本方針によると、農業分野が貿易自由化により最も影響を受けやすいとの認識を示しつつも、アジア太平洋自由貿易圏（F T A A P）構想を積極的に推進するとしている。

世界的に食糧需要が増大する中、北海道農業は、我が国最大の食料供給地域として、米、小麦、酪農等を中心に、専門的な経営を主体に良質な農産物を安定供給し、水産業においても国民への食料安定供給を図り、国の目指す食料自給率の向上に寄与している。

しかしながら、我が国が参加を検討している T P P（環太平洋パートナーシップ協定）は、原則 100% 関税撤廃とされており、国内農業と比べ生産規模が極めて大きい複数国との交渉となることから、厳しい交渉環境にあり、仮に重要品目の関税撤廃の例外措置が認められない場合、地域社会の崩壊さえ懸念されている。

また、T P P に参加した場合の道内農業への影響は、北海道の試算によると、米で現在の生産額の 1,255 億円の 90% が減少し 125 億円に、酪農では、3,502 億円が 72% 減の 966 億円、肉用牛は 587 億円が 82% 減の 104 億円となり、小麦、テンサイ、デンプン、豚にいたっては、100% 減少すると報道されている。

本町の酪農畜産においても、北海道の試算を当てはめると、生乳と畜産及び固体販売全部の 495 億円が減少すると町農政課では試算しており、水産業を含めた一次産業にとどまらず、食品加工や流通、観光など、影響は多岐にわたり、地域産業の全体をも直撃しかねない。

このような状況を踏まえ、慎重に協議、検討した結果、委員全員の賛成をもって本意見

書を提案することになったものです。

内容の説明につきましては、意見書の朗読をもって説明にかえさせていただきます。

発委第7号TPP交渉への参加を行わないよう求める意見書。

上記の議案を、別紙のとおり、別海町議会会議規則第14条第3項の規定により提出します。

平成22年11月15日、別海町議会議長渡邊政吉。

提出者、別海町議会産業常任委員会委員長戸田憲悦。

TPP交渉への参加を行わないよう求める意見書。

政府は去る11月9日「包括的経済連携に関する基本方針」を閣議決定した。

この基本方針によれば、農業分野が貿易自由化により最も影響を受けやすい分野であるとの認識を示しつつも、アジア太平洋地域が政治・経済・安全保障上の最重要地域でありアジア太平洋自由貿易圏（FTAAP）構想を積極的に推進するとしている。

この包括的経済連携の具体的な取り組みとして、EPA交渉の積極的推進と環太平洋戦略的経済連携協定（TPP）については情報収集を進め国内の環境を整備し関係国との協議を開始すると明記されている。

世界的に食料需要が増大し食料輸出国における輸出規制などにより、食料供給に不安定要素が増す中で、国は食料自給率を50%に引き上げることとし、また、先日開催されたAPEC食料安全保障担当大臣会合は、地域内の食料増大等を図り、世界的な食料不足に柔軟に対応できる不安のない食生活を保障していくことを宣言している。

北海道農業は我が国最大の食料供給地域として、米、小麦、パレイショ、テンサイ、酪農等を中心に、専門的な経営を主体に良質な農産物を安定供給してきており、水産業においても国民への食料安定供給を図り、食料自給率の向上に寄与している。

しかしながら、我が国が参加を検討しているTPP（環太平洋パートナーシップ協定）は、原則100%関税撤廃とされており、我が国農業と比べ生産規模が極めて大きい米国や豪州などを含む複数国との交渉となることから、高いハードルが課せられる交渉環境にあり、仮に重要品目の関税撤廃の例外措置が認められない場合、地域社会の崩壊さえ懸念されております。

よって、国においては、食料供給率の向上や食料安全保障の観点からも、多様な農業の共存を基本的理念として堅持し、地域社会の経済・雇用に甚大な影響を与えるTPP交渉への参加を行わないよう、次の事項について強く要望する。

記。

1、関税撤廃を原則とするTPP交渉への参加は行わないこと。

2、EPA・FTA等あらゆる国際交渉においては、米や小麦、デンプン、砂糖、牛肉、乳製品等の重要品目、並びに主要水産物を関税撤廃の対象から除外すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成22年11月15日、北海道野付郡別海町議会議長渡邊政吉。

意見書の提出先、衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、外務大臣、農林水産大臣、経済産業大臣。

以上であります。

御審議の上、速やかに御決定を賜りますよう、よろしくお願いを申し上げます。

議長（渡邊政吉君） 発委第7号の内容説明が終わりましたので、本件の質疑を行います。質疑に入ります。

8 番松原議員。

8 番（松原政勝君） 委員長にお伺いします。

まず、この意見書の提出については私も賛成でございます。ただ、委員長の、今の報告の中で、農業協同組合の連合会やら、それから議員連盟、さらには共産党代表団の中村氏から要請があったということでございますが、私は、この問題はもう既に、いろいろ国内でも議論をされてから1カ月以上も過ぎているわけです。当然、我が別海町は、この一次産業で上がる生産高が500億円以上もある、そういう町の中心になる産業が農業であり、水産の一部であるわけでございます。それが、今、APECなんかで、総理大臣も、来年まで、要するに国内の環境を整備するという何か柔軟な、ちょっと先送りしたような感じは聞いておりますが、いずれにしても、我が別海町にしては大きな問題であり、私はもう少し早く、議会としても委員会としても、意見書なりそういうアクションを起こすべきではなかったかと、このように思うわけです。既に道議会あたりは、その意見書を採択したり、さらには先週の土曜日ですか、東京、横浜に集まって、経済団体、さらには自治体、そういう人たちが何千人と集まって決起集会をやったということで、もう、第1段階終わったのです。ですから、私たちのこの別海町の町は、もっとこれを早くこれに取り組んでもおかしくなかったのではないかという、ちょっと残念というよりも遅かったのかなと、このように思うわけでございます。

さらには、これからもこういうTPPの問題については、恐らくいろいろな紆余曲折があると思います。そういう中でも、やっぱり私たちの議会、行政も含めて議会も行政も、やはり敏感にそれをとらえて、そして行動するべきだ。また、アクションを起こすべきだというふうに考えておりますので、どうぞ、委員長、そこら辺も含めて、今後、委員会の中で議論していただきたいと、このように思います。

何か、委員長ありましたら、お願いいたします。

議長（渡邊政吉君） 産業常任委員長。

産業常任委員長（戸田憲悦君） 大変、時期を失したという御意見だったかなと思いますけれども、このタイミングが、まさに一番いいタイミングでございまして、この意見書を提出に当たりましては、議会の御決定が必要だと、全員の皆さんの賛同がなければ勝手に出すわけにいかないのでもございまして、そういうことも踏まえて、本来であれば12月の定例会と、そこまでという状況を見ながら、またまた状況を見ながら、そうしていくのがいいのかなと考えましたけれども、この臨時会がちょうどタイミングよく15日開催ということで、早急に上げようということになった次第でございます。

政府のほうですね、11月9日に閣議決定ということで、参加まではいきませんが、情報を得ながら進めていくということで、まことにあいまいな表現でございましたけれども、しかしながら、そのような表現は別として、来年6月までにその方向性をということもありますので、全道の自治体の中でも、まだ一、二件しか、道議会は別ですけれども、この意見書提出をやっていないと。そういうことも含めて、別海町が一番先頭バッターであろうと、そのように思っている次第でございます。

ホクレン等々の情報によりますと、100%ここに突き進むことにはならないだろうという意見もありますし、専門の学者、それから情報通、いわゆるアメリカ、豪州等との農業問題に詳しい方々の専門家の意見を聞きましても、そのお話によりますと、どういう形になるのか、日本は、逆に言ったら除外されてしまう可能性は多分、多分にあると。それと、もう一つはオーストラリア、いわゆる豪州、アメリカとのFTAの中でも合意に至っ

ているものは少ないと。やはり自国の利益を、農業利益を守ることに関わり専念しているという情報がありますので、この先はかなり見えない部分もありますけれども、まさに今の与党が、日本の農業、日本の食料生産を崩壊に至らしめるような愚は行われないうだろうと、そのように私は思います。

松原議員が、遅かったのではないかとということでございますけれども、遅くはなくて、大分早かったなと逆に思っているわけでございますから、その点をひとつ重々御理解をいただきまして、賛同をしていただければと思います。

答えになったかどうかはわかりませんが、これからどんどん進めていく協議、進めていくところでございますので、よろしくひとつ御理解を願いたいと思います。

議長（渡邊政吉君） 松原議員、よろしいですか。

なお、今は委員長に対する質問でございますが、提出時期の質問でございましたので、私からも若干補足説明がございまして、実は、根室管内議長会で、議長が急遽この問題が国として持ち上げましたので、何としても早目に意見書を提出する方向で、実は話し合いを持ちまして、電話連絡をとり合って、それぞれ、本来は意見書提案というのは定例会ではないとだめなことに、基本的に言えばなっているのですが、こういう緊急を要する、国を左右する議題なものですから、4町とも話し合って、それぞれのもう日程が決まっております臨時議会で何とか提出しようということで、中標津は、たまたま1日だったのですが、うちがきょう15日と。羅臼、標津も、いろいろな案件で臨時議会で、この意見書をそれぞれ決めていただいて提出するという方向で、4町で出すことに相なりました。これが経過報告でございます。

そういうことと、もう一つ、前に全員協議会でちょっと報告したかと思いますが、実は町長から要請がありまして、今月の1日に、私も、このことに関してほかの議題もございましたけれども、中央要請、私も要請を受けて行ってまいりました。振興部の次長も一緒にございました。そのときには、あの時期に別海町としては、各関係大臣、副大臣等々に、今まさに提出しようとしていますこの案件を、町としては既に要請をしてきております。文書、意見書的なものも出してきておりますので、説明をつけ加えさせていただきます。よろしくお願いいたします。

このことについて、ほかに御質問ございますか。

（「なし」の声あり）

議長（渡邊政吉君） それでは、ないようですので、質問を終わります。

それでは、これから討論に入ります。討論ございますか。

（「なし」の声あり）

議長（渡邊政吉君） 討論を終わります。

これから、採決いたします。

本案は、原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

議長（渡邊政吉君） 御異議なしと認めます。

したがって、発委第7号は、原案のとおり可決されました。

#### 閉会宣告

議長（渡邊政吉君） 以上をもって、本臨時会に付議された案件の審議はすべて終了いたしました。

これにて、平成 22 年第 4 回別海町議会臨時会を閉会いたします。

閉会 午後 3 時 20 分

町長あいさつ

議長（渡邊政吉君） 町長あいさつ。

町長（水沼 猛君） まずもって、本臨時会に提出をさせていただきました報告案件 2 件のほか、議案 4 件につきまして、御審議をいただき御決定いただきましたことに、御礼を申し上げる次第でございます。

ここで、何点か御報告をさせていただきたいと思います。

まず、1 点目ですが、町内の土木工事業者の事業停止等任意整理の件についてでございますが、既に議員各位御承知のとおりと思いますが、11 月 1 日付で本町内の土木工事業者が事業停止をした旨の新聞報道があったところでございます。本町が 10 月末の時点で、この土木工事業者へ発注していた工事については、全部で 4 件でございました。このうちの 2 件につきましては、調整交付金事業で別海常盤町北団地 1 条線改良舗装工事、それと別海旭町南 1 条通線改良舗装工事、この二つでございまして、それぞれ 10 月 29 日に事業が完了しております。11 月 9 日に、社長立会の上、検定を終了したところでございます。残りの二つの工事ですが、臨時町道整備事業の別海宮舞町北 1 号線改良舗装工事、これは工期が 9 月 14 日から 12 月 20 日まで、それと尾岱沼港町 2 号線改良舗装工事、9 月 14 日から 11 月 30 日まで、この 2 件ですが、いずれの工事についても工期途中での事業停止でございます。11 月 3 日、工事続行不能の届出を受理いたしまして、11 月 5 日付で契約解除の通知を行いまして、11 月 11 日に工事費の出来高清算のための部分検査を行ったところでございます。このため、残りの工事については、新たな入札により、できる限り早い時期に完了させたいと考えておりますので御理解をいただきたいと思います。

2 点目は、町立別海病院の小児科医、内科医の着任についてでございます。

9 月末で小児科医、外科医が退職され、10 月から出張医のみで対応をしておりましたが、既に新聞報道により承知のことと思いますが、小児科医、内科医、各 1 名が 11 月 1 日付で常勤医として着任していただきました。

この 2 人の医師でございますが、御夫婦でございまして、御主人である高橋幸成氏が内科医、奥さんの高橋晶子氏が小児科医でございます。

御主人は、京都大学医学部卒業で、同大学の大学院を卒業され、現在 47 歳でございます。専門については呼吸器内科で、専門医の上に当たります指導医の資格をお持ちで、平成 4 年には学位を取得しております。

奥さんは、平成元年に岡山大学薬学部を卒業されましたが、医師を目指し香川大学医学部に進まれ、平成 6 年に同大学卒業後小児科学を専攻し、小児科専門医を取得され、現在 40 歳でございます。

10 月から不在となっておりました小児科常勤医が確保されましたので、診療の安定化に期待をいたしているところでございますが、現在、お二人には生後 5 カ月のお子さんがあります。子育てをしながらの診療となりますので、最初から極端な負担をかけずに、少しずつ状況を見ながら診療を進めていくこととしておりますので、御理解をいただきたいと思います。

また、御主人の内科医でございますが、町立中標津病院に呼吸器専門医が不在なことか

ら、週1回程度出張医として支援依頼が現在ございます。町立中標津病院とは、地域医療連携を図るため相互協力を進めることとしておりまして、現在調整中でございます。

さらには、内科医が5名体制となったことから、内科健診業務、また、訪問診療等拡大を図るなど、業務内容の見直しを現在病院内で進めているところでございます。

なお、外科の常勤医、整形外科の出張医が現在不在となっているため、今後も医師確保に努めてまいりたいと考えております。

次に3点目ですが、中央要請についてでございます。

去る11月2日、別海町議会、農業団体、商工会、それぞれ、議長、会長の同行やら御支援をいただきまして、北海道開発に関する要望、すなわち、北海道開発体制にかかわり、国土交通省北海道局の存続と予算の確保について要請をしてまいりました。あわせて、先ほどもお話がありましたように、緊急の要請として、環太平洋戦略的経済連携協定、いわゆるTPPに関する要望について実施をしまいったところでございます。当初、馬淵国土交通大臣との面会を予定しておりましたが、大臣の都合でキャンセルとなりまして、三井辨雄副大臣と面会をしてまいりました。昨今、国土計画局と北海道局、これの統合案なども取りざたされておりますが、副大臣によりますと、政務3役の中では、北海道局の廃止はないとのことで意見の一致を見ているとのことでございました。

また、農林水産省については、筒井信隆副大臣との面会の中では、基盤整備事業においては継続地区の予算確保を優先せざるを得ない状況について、それぞれ説明がありました。新規地区の事業採択を再度強く要請をしたところでございます。

TPPについては、両副大臣とも反対の立場であり、阻止をしていくとのことでございましたが、この状況については大変厳しいものがあるとの認識も片やありました。

いずれにしても、一我々地方団体でございますが、農業団体だけではなく、地域を挙げてオール別海町として要請活動は先方からも高く評価をされたところでございます。

このTPPの交渉についても、今後、今、全国また、北海道でも阻止の集会を開いて、何とか日本の、農業団体が今主流になっておりますが、さらに北海道の経済団体、また消費者団体、それから多くのそれぞれの市民等々、やはり国内世論をしっかりと盛り上げて、今後とも、この阻止に向けて、さまざまな団体が結束して活動をしていかなければならないだろうと、そのような思いで、来年の6月ごろに、この判断をしたいということも国も言っておりますので、短い期間の中ではございますが、しっかりと阻止への我々も活動をしていかなければならないだろうと思っておりますので、ぜひ、議員各位の御支援、御協力もお願いを申し上げる次第であります。

また、最後になりますが、今後、流行が懸念されている鳥インフルエンザについて若干報告をさせていただきます。

去る10月14日に、稚内市の大沼で採取されたカモのふんから、高病原性の鳥インフルエンザウイルスが検出されたとのことであります。これを受けまして、北海道は監視体制を強化しておりますが、本町でも11月1日に第1回町内鳥インフルエンザ連絡会議を開催し、巡視、情報収集、事案対応について確認したところであります。

幸い、現在のところ、家禽などへの伝染もなく落ちついておりますが、異常固体等を発見した場合の注意喚起のため、広報べつかい12月号で周知することとしておりますので、御承知おきいただきたいと思います。

今後の日程でございますが、今のところ、人事院勧告に伴います条例の一部改正のため、11月29日月曜ですが、臨時会の招集を予定しております。また、12月定例会に



つきましては、１２月１４日から１２月１７日までを予定しております。議員各位におかれましては、それぞれ何かと御多忙中な時期となりますが、後ほど案内をさせていただきたいと思いますので、よろしくお願いを申し上げます。

また、来週には、中央公民館におきまして第１回別海町医療フェアを開催をいたします。午前１１時からの開催ですが、午後１時から札幌医大の島本学長からの基調講演やシンポジウムを予定をされておりますので、議員の皆様方もぜひ御参加されますよう御案内を申し上げまして、閉会に当たりましてのあいさつといたします。

本日は大変ありがとうございました。

議長（渡邊政吉君） なお、この後、３時３５分から全員協議会を行いますので、議員各位は議場に参集願います。

それでは、町長初め皆様大変お疲れさまでございました。

上記は、地方自治法第 1 2 3 条の規定により会議の次第を記載したものである。

平成 年 月 日

署 名 者

別海町議会議長

議 員

議 員

議 員